



わなみ

学校だより 第3号
令和7年7月23日
新潟市立和納小学校
<http://www.wanow.city-niigata.ed.jp/>
Tel 0256-82-3028 Fax 0256-82-5780

教育目標「心身ともに健康で実践力のある子ども」



未来につながる夏休みに

校長 大矢 和 憲

和納小学校では、「わなみタイム」という時間に「わなみ班」という異学年班で一緒に遊ぶ取組「わなみ班遊び」を行っています。学年関係なく仲良くゲームを楽しんだり、上学年が下学年を優しくリードしたりするなど、微笑ましい様子がたくさん見られます。私は、この「わなみ班遊び」が、きっと未来の和納地域や和納小学校につながっていくのだと思っています。

私たちが小学生の頃、夏休みといえば、朝のラジオ体操に始まり、地域子供会の行事や子供神輿、地域水泳（夏休みの学校プール開放）や地域対抗の少年野球大会など、同じ地域の先輩や後輩と一緒に過ごす時間がたくさんありました。今振り返ると、様々な学年の子供同士でかかわる中で、いわゆる社会性が培われていたのだと思います。

そして、年月が経って親になった今、小学生時代に仲良くしていた先輩や後輩と、保護者として一緒に地域や学校で活動できることがうれしかったりもします。



これから 35 日間の夏休みになります。夏休みは、子供が家庭や地域で成長する時間です。そして、ぜひ、子供たちの未来につながる夏休みになってほしいと願っています。

先に述べたように、子供会の行事等に参加して様々な学年の子供とかかわったり、十五夜祭りで伝統文化に触れたりすることは、未来の地域生活につながります。

また、「スーパーマリオブラザーズ」や「ゼルダの伝説」といった世界的ゲームの生みの親である宮本茂さんは、夏休みに昆虫採集や探検をして遊んだ体験が発想の原点となったそうです。著名な漫画家の手塚治虫さんも同様に、夏休みの昆虫採集と虫のスケッチが原体験となって、「ジャングル大帝」等の作品が創られたそうです。好きなことに没頭したり、夏休みにしかできない体験をしたりすることが、未来につながったというエピソードです。

今年の夏休み、国語や図工、理科のコンクールなどに挑戦したり、毎日本をたくさん読んだり、お手伝いを頑張ったりすることが、未来の自分の仕事につながるかもしれません。

学校ではできないこと。夏休みだからできることはたくさんあります。令和7年〇年生の夏休みの家庭や地域での経験や体験、挑戦が成長を促し、未来につながったら素敵ですね。

夏休み明け、成長した「わなみっ子」に会えることを、教職員一同楽しみにしています。

5年生自然教室（県立こども自然王国）

「自然教室の思い出」

竹内 悠隆

ぼくが自然王国に行って楽しかったことは、沢登りです。理由は、奥に進むほど水が深くなるし、とても水が冷たかったからです。もっと進むとたきがあって、たきに打たれると水が冷たかったけど、水になれると気持ちがよかったです。水の流れて、土でできた壁が崩れて、毎年見れる景色が変わるということも知りました。自然教室での経験を大切にして、これからも勉強をがんばっていきます。



馬場 彩華

私がこども自然王国で学んだことは、時間を守ることが大切だということです。もし一人でも時間を守らなかったら、みんなや自然王国の職員の方にもめいわくがかかってしまいます。これからは、時間を守ってすごしたいです。楽しかったことは、カヌー体験です。最初はとてもむずかしかったけれど、だんだん慣れてきて楽しくこぐことができました。野外炊事のカレー作りでは、ごはん係でした。ごはんも上手にたけました。みんなで作ったカレーはおいしかったです。自然王国での思い出は忘れません。

6年生修学旅行（佐渡）

「修学旅行の旅日記」

田辺 夢空

行きの船で酔ってしまったけど、みんなが助けてくれてうれしかったです。船から見る景色はとてもきれいでした。砂金採りでは、最初は難しくて全然採れないかと思ったけど、全部で10個も採れてよかったです。トキの森公園では本物のトキを見られてとても嬉しかったです。思っていたよりも大きくてびっくりしました。ぶりカツ丼もおいしかったです。疲れて帰りのバスではずっと寝ていましたが、思い出がたくさんできた最高の二日間でした。

千葉 ななみ

宿で泊まった時は、部屋の友達とたくさんしゃべり、みんなテンションが上がってすごく面白かったです。太鼓体験交流館では、おもいきり太鼓をたたいてすごく気持ちよかったです。宿根木では、昔の町並みの様子がとてもきれいでした。たらい舟は、こぐのはとても難しかったけど乗っていてとても楽しかったです。お土産を買うときには、何を買うかたくさん迷ったけど、いいお土産を買えました。帰りのジェットフォイルはすごく速くて、あっという間に新潟に着いてしまい、修学旅行が終わると思うとさみしく感じました。



和納小学校にご寄附いただきました

和納小学校出身の高野キクさん（2021年に満100歳でご逝去）が、兄弟6人全員が和納小学校の卒業生でお世話になったので、最後までご存命であったキクさんが兄弟6人を代表して、遺言書に「遺産を和納小学校に寄附したい」と記載されていました。甥である松川敬さんが遺産を相続されて、学校と連絡を取り、故人の遺志を尊重して、物品を寄附していただく運びとなりました。

7月23日（水）の夏休み前朝会で、耕運機、電子ピアノ、85型大型モニターをCS委員、自治会長、PTA常任委員をお招きして、お披露目しました。後日、除雪機も寄附していただく予定です。

（写真左から耕運機・電子ピアノ・85型大型モニター）

